



後藤滋樹

ごとう・しげき：早稲田大学 理工学部
情報学科教授。ISOC理事、APNG
議長、MINC理事を歴任。現在は
APAN副議長としてアジア太平洋の
インターネット界で活躍している。
goto@goto.info.waseda.ac.jp

インターネット大乱

成田から順調に飛行を続けてきたNH907便は、ソウル仁川国際空港の濃霧が晴れるのを待って、約20分遅れて着陸した。機長のアナウンスによると視界が悪く、基準をクリアしなかったので上空を旋回していたと言う。厚い雲の中を降下して空港の敷地が見えたときには、乗客の皆が安堵した。地上はすっかり雪で覆われていた。

この日は月曜日であったが、韓国のインターネットでは先週の土曜日から大混乱が起こっていた。多数のSQLサーバーにワームが侵入して、膨大なパケットを送信し始めた。その送信先の1つがKT（韓国通信）などのプロバイダーのDNSサーバーであった。膨大なデータの流入に堪えきれないサーバーがあったり、また運用者が防御のためにネットワークの接続を制限したりした。

韓国のインターネットは広範囲に麻痺状態となった。私がソウルに到着した日の朝鮮日報には「インターネット大乱」というハングル文字が一面トップに大きく印刷されていた。

大雪で混乱

もう1つ市民生活を混乱させたのは大雪である。空港からソウル市街へ向かうバスの窓から見てみると、道を歩いている人が滑りそうになっていた。バスは特に遅れることもなく、ロッテホテルに到着した。バスを降りて隣のプレジデントホテルまで歩く。ホテルに荷物を置いて地下鉄の駅まで歩き、漢陽大学のYong-Jin Park先生を訪問した。漢陽大駅を出ると、そこは綺麗な大学の構内である。

漢陽大学のキャンパスは丘の地形を生かしている。坂道や階段が多い。場所によっては雪が残っていたり、凍結していたりするところもある。私は韓国の友人から事前にアドバイスをもらっていた。スキー場に行くような靴を履き、帽子をかぶっている。靴のお陰で滑りにくい。気温が低いときには帽子が有効である。友人からメールで助言をもらったころにはインターネットは平穏だった。

Park先生の部屋に到着して熱いコーヒーをいただきながら話を聞くと、大雪のために路線バスの運行に支障が生じて混乱しているのだと言う。Park教授自身も歯医者に診療予約をしていたのに、時間どおりに医院に到着できず、今日は治療ができなかったそうだ。

ヒーター付きの扇風機

韓国の大学は春休みの時期であるが、セミナーが開かれている。私は大学院生を相手に講演をした。積極的に質問をしてくれる院生がいて私も楽しく過ごした。最初の予定では、韓国情報科学会の研究会の委員長であるIlyong Chong先生が、私と打ち合わせのために漢陽大学に来てくれるはずであったが、同先生が車で移動できないため、その打ち合わせは断念した。

ホテルの近所まで地下鉄で移動して、Park教授とフグのコーチジャン（辛味噌）焼きの夕食を楽しむ。百歳酒を飲んで別れる。私は繁華街の明洞（ミョンドン）を一周してからホテルに引き揚げた。雪のせいなのか、人通りが少ないように感じる。それでも人気のある店には若者が集まっている。

ホテルの入口には、ヒーターと扇風機を合体したような機械が置いてある。これが熱風を吹き出す。私は先月号で紹介したシンガポールの霧を吹き出す扇風機を思い出した。アジアは広い。シンガポールは32度でもソウルはマイナス10度である。

淑明女子大にて学会

翌日の朝にIlyong Chong先生からホテルの部屋に電話があり、私をホテルに迎えに来ると言う。ただし雪が原因で交通事故があった模様で大渋滞している。私は会場の淑明女子大ならば地下鉄の4号線で淑大入口駅のはずだから、自分で行けると答える。Chong先生は「車で行けばホテルから10分で淑大に行けるのだから待っていてください」と言う。

ホテルに車で到着したChong先生は、研究会に遅刻することを心配する私に向かって言う。「私が委員長なのだから私が行かなければ始まらない。今日は研究会の開始時刻を15分遅らせましょう。なるほど、ここで焦っても仕方がない。今日は大雪の特別の日なのだから。

淑明女子大は名門女子大である。大きな正門の横を車で通過する。建物の地下が駐車場になっている。本来の開始時刻ギリギリに会場の部屋に到着した。Chong先生いわく、「今日は参加者が多いです。後藤先生が講演するというので何人が声を掛けましたけど、研究会を女子大で開催すると、いつも人数が増えるものですよ。これは貴重な学会運営のノウハウを教えていただいた。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp